# 全東京写真連盟 撮影会写真コンクール

# 入賞作品集



審査対象 水元公園菖蒲まつり浴衣撮影会

撮影日 2022年06月05日

審査日 2022年08月06日

審查員:HARUKI先生



金賞 「傘をさす女性」 三井 直人 様 モデル 山下 明穂

### 審查員:HARUKI先生 講評

かつて浴衣の女性モデルさんといえばややぽっちゃりした和風女性が主流でしたが、最近は夏になると若い方も浴衣を着るのが流行っているせいか細身の方でも上手く着こなしている方が増えてきましたね。このモデルさんもスラッとしているけどちゃんと身体に合った着こなしをされています。焦点距離142mm の望遠効果を使って余計なモノを排除しながらもこの撮影会のもうひとつの主旨でもある花菖蒲の存在を背景にボカしながらも撮り入れての撮影と画面左上の僅かな枝先の前ボケは上品でポイント高いです。オート露光では背景の花の明るさに引っ張られてしまいますが2/3 の露出補正は正解です。モデル、背景、技術が揃っての現代的な見返り美人が出来上がりました☆



銀賞 「華」 健 様 長嶋 2022年ミス日本 モデル ミス着物 佐藤 梨沙子

## 審査員:HARUKI先生 講評

番宜貝・「MARUNI元生 ・再計 まるで若き日の吉永小百合さんを彷彿とさせる往年の女優さんみたいな顔立ちに目を惹かれます。もしも衣装が浴衣ではなくワンピースなどの洋服だったらそれもお似合いなのでしょうけど、ここでは髪型とのセットで今風な「和」を感じさせてくれるモデルさんですね。下手をすれば失敗に終わる可能性が高い切り取り方でもあるバストアップを横位置でギリギリに収めるフレーミングが秀逸です。70-200/F2.8 レンズですが斜めからの撮影で両目にピントを合わせるうえで開放ではなくF3.5 という選択も良かったです。彼女を撮影された応募はたくさんありましたが、その中でも清涼感と決まった表情ではなく不思議な一瞬を捉えたこのカットを選ばせて頂きました。モデルさんの存在感の大きさを感じる1枚の作品です!!



銅賞 「清楚」 堤 博史 様 モデル 2022年ミス日本 水の天使 横山 莉奈

#### 審査員:HARUKI先生 講評

「清楚」というタイトルに相応しい初々しい印象のかわいいモデルさんですね。モデルさんに対して正面からバストアップでストレートに切り込んでいますが、やや左手に配置し、その分をブルー系の浴衣の色に合わせた背景の紫陽花を入れてのバランスが絶妙ですね。それプラス作者の意図したものなのかどうかわかりませんが画面奥の背景にボケている色味も浴衣のスイカ柄や髪飾りともマッチしています。撮影会での場所選びは難しいものですが紫陽花とモデルさんとの距離がもう少し離れて(ボケて)いればもっと画面が整理されていたかと思われます。



入選 「水辺の想い」 石川 玲 様 モデル 桜美 さやか



入選 「回想」 小野寺 基之 様 モデル 山下 明穂



入選 「見つけた!」 細越 誠也 様 モデル 2022年ミス日本 水の天使 横山 莉奈



入選 「夢で逢えたら」 星野 祐一 様 モデル 戸花 桜



入選 「涼しくなあれ」 村松 郁夫 様 モデル 山下 明穂



佳作 「花と華」 深野 武雄 様 モデル 山下 明穂



佳作 「可愛く浴衣」 湯原 章綱 様 モデル 2022年ミス日本 水の天使 横山 莉奈



佳作 「ルンルン気分」 荒井 秀雄 様 モデル 山口由恵



佳作 「六月の水元公園で」 豊田 光司 様 モデル 2022年ミス日本 ミス着物 佐藤 梨沙子



佳作 「初夏の装い」 内藤 勝之 様 モデル 桜美 さやか



佳作 「可愛いしか勝たん!」 在原 博 様 モデル 2022年ミス日本 水の天使 横山 莉奈



佳作 「想い」 佐藤 隆 様 モデル 山下 明穂



佳作 「華」 鈴木 幸彦 様 モデル りん



佳作 「初夏の午後」 天谷 昌司 様 モデル 山下 明穂



佳作 「花の中で微笑」 山本 皖治 様 モデル 桜美 さやか



次点 「花の妖精」 小倉 良二 様 モデル 桜井 らら



次点 「微笑み」 米沢 健二 様 モデル 2022年ミス日本 水の天使 横山 莉奈



次点 「魅力的な微笑み」 横塚 英夫 様 モデル 山下 明穂



次点 「花盛り」 髙橋 壯太 様 モデル 山口由恵



次点 「初恋の道」 斎藤 貴生 様 モデル 山口由恵



次点 「花菖蒲を背景に」 鵜飼 典彦 様 モデル HIMECA



次点 「穏やかなほほえみ」 池田 道政 様 モデル 山下 明穂



次点 「浴衣美人」 井原 亮祐 様 モデル 山下 明穂



次点 「はんなりと」 岸野 孝博 様 モデル 桜美 さやか



次点 「笑顔咲く」 矢島 彰 様 モデル 山口由恵

#### 【F値(絞り)の選択】

皆さんこんにちは。しばらく審査の間が開いてしまいましたがお元気ですか。 今回はポートレート撮影時の大口径レンズの絞り値について考えてみたいと思います。 撮影会でのモデル撮影のレンズとして多くみかけられるのが70-200mmF2.8 ズームを はじめとして85mm や105mm、最近では135mm などの明るい単焦点望遠系レンズ で絞り開放で撮影されているかと思います。いわゆるポートレートレンズとして王道の チョイスかと思います。それ自体は何の問題もないのですが一つ気になることがありま して、、、、それが絞り値の選択です。

せっかく高いお金を払って大口径レンズを買ったのだから「ボケ量が大きい最大口径である開放F値で撮りたい」と思われるのはボク自身もそうですし人情(ひと)としてよく理解(わか)ります。しかし、ボケ量が多ければそれだけで良いのでしょうか?何も考えずにF1.2とかf1.4とかの絞り開放絶対主義のようになっていませんか?上位入選作品を見てもレンズの特徴を理解している方は1/3絞りとか半絞りとか若干絞ることによって画質を引き出しつつ、合焦領域を広げて使われているなと感じました。ボク自身もレンズレビューなどで必ずと言っても良いくらい開放絞りでの撮影を行っていますし自分でも多用します。それはレンズ性能や表現が最も解りやすいからです。もちろん開放値を使うことが決して悪いわけではありません、むしろ考えがあっての絞り開放値での撮影は必要ですし大歓迎なのです。レンズが仮にF1.4のレンズだとしましょう。昔と違ってデジタルはすぐに確認出来るので開放F1.4、F1.8、F2、f2.8、f3.5と少しづつ絞りを変えて撮ってみるとピントの合う範囲や画質の変化がわかると思いますので、その撮影目的に沿った絞り値を選んでみたら良いと思います。大口径レンズ=即開放絞りではなく適材適所で使ってみましょうという提案でした☆

HARUK I